

## ラーフ、ケートゥのトランジット

ラーフ/ケートゥ軸は逆行して1年半で一つの星座を移動します。

ラーフは欲望の惑星で衝動、非伝統性、革新性を表し、変化を求めます。またラーフは幻想を持つと言われる。あまりもの激しい意欲が客観的判断を狂わせます。一方、ケートゥは無執着、損失、寂しさなどを表します。何かに対する断念などを表します。そしてケートゥもまた変化をもたらします。

ラーフ/ケートゥ軸は月と太陽の交点であることから、太陽や月がトランジットすることで日蝕や月蝕が起こります。日蝕や月蝕はそれが起こるハウスで変化を起こすため、結局のところ、ラーフ/ケートゥ軸が在住するハウスはそのハウスの象意に変化が起こります。

上述の小室哲也のケースでは結婚した2002年11月22日の前後に1室と7室で日蝕が生じています。従って、自分自身やパートナーに関して変化が生じる時期であり、またこれは7室をラグナとした場合でも同じように1室と7室で日蝕が生じているため、パートナーのKeikoにとっても自分自身とパートナー関係にとって同じような変化の時期であったことを表しています。

		Su Ra Me Mo Sa	Ma Ju
	Solar Eclipse 2002/6/10 18:00		Ve
	Ke		

		Ra	Sa
	Solar Eclipse 2002/12/4 2:00		Ju
	Me Mo Ke Su	Ma Ve	